

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 10 月 9 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 9 日 作成

事務事業名		拾八町笹原線道路整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が、安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名 上原 哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名 塩崎 史
	基本事業	13	計画的な道路の整備		所属班	工務班	(内線) 2277
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
		1	8	2	3	11262	成果優先度評価結果 5 コスト削減優先度評価結果 9
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (15 ~ 23 年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 大摩原線からすずかけ4号線を結ぶ本路線は笹原団地内を横断する生活道路であるが、幅員が狭く歩行者の安全な通行に支障をきたしているため、道路の拡幅を行い歩道を設け歩行者・車両の安全を確保する。 【業務の流れ】 平成15年 測量設計業務委託(4,179千円) 補償物件鑑定業務委託(945千円) 平成19年以降 用地交渉、登記事務、改良工事、道路管理 【主な予算費目】 公有財産購入費 補償費 工事費							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 用地交渉・立会・契約・登記
21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 用地交渉・立会・契約・登記

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
拾八町笹原線道路

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
道路改良が出来て安全快適に移動できる。

④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)
土地利用に合った道路網が整備される

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア 道路改良工事	m
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア 全延長	m
⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 整備率	%
⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 整備済延長/計画延長×100	%

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	15	23
事業費	国庫支出金	千円								総 ト ー タ ル コ ス ト (期間限定複数年度のみ記載)	44,300
	都道府県支出金	千円									
	地方債	千円	0	3,600	6,600	800	5,700	19,000	19,000		
	その他	千円									
	繰入金	千円									
	一般財源	千円	0	220	400	52	300	1,000	1,000		2,372
	(A) 事業費計	千円	0	3,820	7,000	852	6,000	20,000	20,000		46,672
人件費	うち指定経費	千円	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	正規職員従事人数	人	0	3	3	5	3	3	3	17	
	延べ業務時間	時間	0	192	192	290	192	192	600	1,466	
(B)人件費計	千円	0	764	764	1,154	764	764	2,388	5,835		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	4,584	7,764	2,006	6,764	20,764	22,388	52,507		
活動指標	ア	m	0	0	0	0	0	0	0	目 標 合 計 値 画 22 年 度	0
対象指標	ア	m	340	340	340	340	340	340	340		340
成果指標	ア	%	0	0	40	40	60	80	100		0
上位成果指標	ア	%	15	23	45	45	70	100	100		100

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
地元要望等により必要性の検討の結果、平成15年度から事業開始となった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
事業開始時期、周辺は既存の住宅が点在していたが、住宅開発が進み交通量も増加しており、今後は交通量に応じた幅員構成及び歩道の設置によりスムーズな通行が出来る整備が必要とされる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
周辺住宅は、子育て世代が開発により多く移り住んで来ており通学路としての期待が大きい。そのため歩道整備の要望が多く寄せられている。

事務事業名	拾八町笹原線道路整備事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 道路整備後は、スムーズな車両の通行及び歩行者の安全性の確保につながり、道路ネットワークの充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 本路線は市道であり、安全かつ快適な通行を図ることは市の義務であるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 道路整備は、通行車両等において必要不可欠な事業であり、施工後は快適に移動できる手段として利用されるため、意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 成果は事業が完成しないと発揮できない。この市道は、南部の市街化区域と北部の調整区域を隔てる道路である。南部沿線については既存住宅が張り付いているので拡幅は困難であるが北部沿線は、今年度から開発行為が盛んに行われているため、開発道路を確保するために敷地後退を行っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 道路整備を行わなければ、安全な通行に支障をきたすため、事業を廃止・休止することは地域の活性化を阻害することとなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法は？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 市道整備においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 用地買収及び工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト縮減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているため余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 本事業を完成させるためには、用地買収等の重要な事業が残っている。また、用地を取得するためには防衛省との重要な協議が残っており、正職員以外の職員は担当できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地域はもとより市民の通行利用もあることから、公正であると判断できる。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…成果は事業が完成しないと発揮できない。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後も北部地区においては、住宅開発の計画があるのでその都度開発協議の中で用地の協力をお願いしていく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		●																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

民間の開発速度に大きく影響される事業である。現行では虫食い状態で開発が進んでおり連続的な地形での用地の確保が出来ていないので今後民間の開発と十分な協議を重ねる必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	2	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)